



## 現在の活動と “地域活動推進” を考える

常務理事 (東京都市大学)  
皆川 勝

CNCP は、「民間非営利セクターをネットワーク化してその活動の強化をはかり、行政や企業、教育・研究機関、そして地域・市民組織とのパートナーシップを通じて、より良い地域社会の構築を図ることを目的」として定款において謳っています。さらに、地域活動推進部門の使命は、「各地域の NPO 法人活動のコーディネーションと国内外の NPO 法人等とのネットワーク化を進める」こととなっています。一方、本部門では、現在、インフラメンテナンスにおける市民参画の推進に関わる活動、並びに、建設産業の社会的事業を顕在化する活動を実施しています。これらの活動が、CNCP の目的あるいは使命とする事業との関係で、どのように位置づけられるかを考えてみたいと思います。本号では、インフラメンテナンスに関する活動について述べてみたいと思います。

インフラメンテナンスにおける市民参画の推進に関わる活動については、CNCP の発足以来、まず、成熟したエンジニアと市民活動の融合という視点で自治体等への実態調査活動を進めました。すなわち、主として建設界で仕事をされてリタイアされた多くの成熟したシビルエンジニアの活躍の場を想定しつつ、産官学に加えて民の立場での参画が必ずしも進んでいない現状を打破し、持続可能なインフラメンテナンスの実現という緊急的かつ長期的課題を解決することの重要性に鑑み、この課題に取り組んできました。調査で分かったことは、人材不足や財政難のため、新しいパートナーの参画は好ましいと思われるものの、建設界で築かれてきた事業の執行システムを変革することは容易ではないという現実でした。そんな中で、国土交通省が打ち出したインフラメンテナンスに関する様々な提言の中に、国民会議を設置してインフラメンテナンスのビジネス化を目指す提案が含まれました。しかし、国民会議と言っているのに市民参画の視点が希薄であるとの多くの意見が示され、結果、市民参画の視点が加えられ、それに呼応して CNCP が主導して市民参画フォーラムを設立することになりました。現在は、CNCP の独自事業として、また多くのメンバーがそれぞれの所属としてインフラメンテナンス国民会議・市民参画フォーラム事務局に参集して、市民参画の進め方を検討しています。

インフラメンテナンスを対象課題として選んでの活動については、成熟した社会基盤を有するわが国の建設界の次世代へ続く主要な使命であることから、解決するべき課題は大きく、多いものの、チャレンジする価値のある課題であると思っています。また、国民会議と連携した活動となっていることについては、全国的な自治体、市民セクター、大学、建設系企業をネットワーク化するのに適していると考えています。また、CNCP は土木学会と強い連携をとっており、第三者機関としての信頼性をこの絆に求めることができます。

現在、1)国民啓発理解促進、2)官民協働、3)事例調査という 3 つの時限的ワーキンググループを作って、検討を進めており、インフラやインフラメンテナンスに関する国民の理解を高め、自治体と国民の双方がこの課題に対する市民参画の重要性と必要性を認識して、実践的な官民協働を各地方において推進することを目指しております。ここでは、各地域の市民セクターの活躍がぜひとも必要であり、現在の検討の先に、結果的には CNCP が目指している「各地域の NPO 法人活動のコーディネーションと国内外の NPO 法人等とのネットワーク化」が少なくとも国内的には実現するものと信じて活動しています。

この活動に関心のある方々、世代を問わず参画を希望しております。ぜひとも、ご連絡をください。

皆川 勝 (minatororo@gmail.com)